

道徳科学習指導案

呉市立宮原小学校

指導者

教諭 佐々木 朱里 (T1)

栄養教諭 山根 直美 (T2)

- 1 日時 令和4年10月6日(木) 第4校時
- 2 学年 第2学年1組
- 3 主題名 世界のいろいろな国の人たちと【C18 国際理解, 国際親善】
- 4 教材名 「ひろいせかいのたくさんの人たちと」(出典:東京書籍)
- 5 ねらい

他国の文化にふれ、他の国々の人々やその国の文化に親しもうとする心情を育む。

6 主題設定の理由

(1) 主題観

本主題は、学習指導要領の内容C「主として集団や社会との関わりに関すること」18 国際理解, 国際親善の、「他国の人々や文化に親しむこと」に基づいて設定している。

グローバル化が進展する今日、国際理解や国際親善は重要な課題になっている。これらの課題に対応できるようにするためには、他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うようにすることが求められる。それぞれの国には独自の伝統と文化があり、自分たちの伝統と文化に対して誇りをもち、大切にしている。そのことを我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにする必要がある。

本教材は、世界の遊びや料理を取り上げている。教材をもとに、世界の料理や伝統的な遊びを知り、興味関心をもたせることで他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てたい。食育の観点から主に世界の料理を扱うことで、「世界を知る」入り口として異文化について楽しく主体的に学習することができると考え本主題を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、普段自分たちが食べているものや遊んでいることの中には、外国から伝わってきたものも多くあることは知っている。しかし、それらが外国の伝統や文化として受け継がれてきたものという視点で意識することや、それぞれの国の人々が自国の伝統や文化を誇りに思い大切にしているということまでは理解していない。日本では当たり前でも外国ではそうではないことがあることも知らないことの方が多い。

【児童が知っている外国の遊びや食事についてのアンケート結果】

① 海外で知っている国はありますか。

ある 13名 いいえ 2名

② どんな国で、どんなことを知っていますか。

国名	人数	どんなことを知っているか
ウクライナ	2名	戦争をして大変な生活をしている
イングランド	1名	海の国
フィリピン	1名	バナナが有名
アメリカ	1名	日本ではおせち料理を食べるが、アメリカでは食べない
ベトナム	1名	外で食事をしている
無記入	7名	

③ 外国の食べ物で知っているものがありますか。

ある 11名 いいえ 4名

④ どの国の、どんな食べ物ですか。

国名	人数	どんな料理を知っているか
韓国	1名	激辛ラーメン キムチ
ベトナム	2名	トムヤンクン フォー
中国	1名	マーボー豆腐
フランス	2名	エスカルゴ
無記入	5名	

本主題で児童の関心が高い遊びと料理から外国の伝統や文化に触れさせ、日本や外国の文化や伝統を理解し尊重し親しみながら生活していこうとする心情を育みたい。

(3) 指導観

児童に、他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うようにするためには、世界の遊びや食事について話題にしたり、実際に体験させる機会を設定し違いを理解させたりして理解を深めることが大切である。そのため、本時では「ひろいせかいのたくさんの人たちと」を教材として児童に日本の文化を捉えさせ、世界の文化を理解しようとする態度を育てていく。

① 導入では、世界にはたくさんの国があり、衣食住、遊びもそれぞれの国の特徴があることを紹介し、興味関心をもたせる。

② 展開では、世界の遊びや料理には日本と似ているものや違っていているものがあることから、外国の文化に興味をもち、自分たちも外国の伝統や文化を理解し親しもうとする意欲をもたせる。

③ 終末では、世界のことにしてもっとたくさんを知りたいという意欲をもたせる。

7 食育の視点

世界には、日本と異なる食事やマナーがあることがわかる<食文化>

8 準備物

外国の暮らし（衣食住）を紹介する写真、外国の遊びの写真

外国の料理の写真、給食に登場した世界の料理の写真

9 本時の展開

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○：主な発問，◎：中心発問)	教師の支援		○指導上の留意点 ☆評価の観点
			T 1	T 2	
導入	1 課題意識をもつ。	○行ってみたい国や知っている国はあるかな。 ・アメリカ。大きいハンバーガーを食べてみたい。 ・エジプト。ピラミッドを見てみたい。 ・ウクライナ。戦争をしている。 ○外国の人はどんな暮らしをしているのだろう。	発問	外国の暮らし（衣食住）の写真を掲示	○写真を提示し、本時の主題への興味関心を高め、課題意識をもたせる。
		せかいの人となかよくなりたい！なれるかな？			

展開前段	2前半を読み、話し合う。	○外国の遊びを調べたたけし君が、うれしくなってきたのはなぜかな。 ・自分の知っている遊びを世界中の子どもたちもしているから。 ○そのことが、どうしてうれしいのかな。 ・いっしょに遊べるから。 ・日本と違うこまやたこで遊べるとうれしいから。 ・日本のこまやたこも教えたい。	発問 発問	外国の遊びの写真の掲示	○キーワードや写真を提示することで、自分事として考えられるようにする。
	3後半を読み、話し合う。	○外国の料理を調べたたけし君が、どうしておもしろいなあと思ったのでしょうか。 ・外国には知らない料理があるから。 ・日本では食べないものを食べている国もあるから。 ・食べるときに使う道具も違うから。 ・おいしいのかどうか確かめたい。 ○その他にはどんな料理があるのだろう。 ・激辛ラーメン ・トムヤンクン	発問 発問	外国の料理の写真の提示 外国の料理の説明 ・フォー 米粉の文化 ・トルティーヤ トウモロコシ 主食の文化 外国の食べ方の説明 給食に登場した外国料理の紹介	○これまでの食体験や写真を提示し、日本と異なる世界の食文化があることに興味をもたせる。
	4本時の学習を振り返る。	◎どうすればせかいの人となかよくなれるだろう。 ・もっと世界のいろいろなことを知りたい。 ・世界のいろいろな料理や遊びを教えてほしい。 ・日本のことも教えてあげたい。 ・自分から声をかけていっしょに楽しんだり遊んだりしたい。 ・いろんな国に行ってみたい。	発問		○小グループで話し合いを取り入れ、多様な考え方をもちだせる。 ○外国のことをさらに知ろうとする意欲をもたせる。

終 末	5 本時のまとめ をする。	○外国のことで自分も調べてみたい ことや外国の人とやってみたい ことを書きましょう。 ・日本にはない他の遊びが知りたい。 ・もっと外国の食べ物や料理が知りたい。		机間指導	○ワークシートを 活用することで、 自分との関わりで 考えをまとめさせる。また、考えを表現しづらい児童には、助言する。 ☆他国の伝統や文化に親しもうとしている。【国際理解・国際親善】 (ワークシート)
--------	------------------	--	--	------	---

10 板書計画

